

地域医療支援病院業務報告書

令和元年 10月 2日

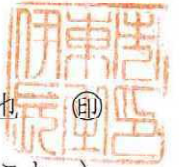
静岡県知事 川勝 平太 様

所在地 静岡県伊東市大原2丁目1番1号

開設者 名称 伊東市

代表者の氏名 伊東市長 小野 達也

代表者の氏名を自署する場合は、押印は不要であること。)



平成30年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称
- 2 開設の場所
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績



## 別紙1 地域医療支援病院の名称及び開設の場所

## 1 開設者の住所及び氏名

住所	〒414-8555 静岡県伊東市人原2丁目1番1号
氏名	伊東市

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

## 2 地域医療支援病院の名称

伊東市民病院
--------

## 3 所在の場所

〒414-0055 静岡県伊東市岡196番地の1	電話 (0557) 37-2626
--------------------------	-------------------

## 4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	250床	250床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 心電図、除細動機、ポータブルUCG、セントラルモニター エコー、ベッドリイドモニター、酸素飽和度測定器、酸素、吸引 病床数 14床
化学検査室	(主な設備) 【生化学】 ・遠心分離機 ・分析用純水製造機 ・試薬保管冷蔵庫 ・検体保管冷蔵庫 ・超低温冷蔵庫 ・臨床化学自動分析装置 ・血糖、ヘモグロビン測定用分析器 ・自動赤血球沈降速度測定器 ・アンモニア測定用分析装置 ・恒温槽 【免疫】 ・自動免疫測定及び薬物血中濃度測定装置 ・顕微鏡 ・冷蔵庫 【血液】 ・自動血球測定装置 ・自動血液凝固分析装置 ・顕微鏡 ・冷蔵庫 ・自動染色装置 【輸血】 ・自動血液洗浄遠心機 ・冷蔵庫 ・冷凍庫 【一般検査】 ・尿定性検査装置 ・顕微鏡 ・冷蔵庫 ・遠心分離機
細菌検査室	(主な設備) ・安全キャビネット ・微生物同定感受性自動分析装置 ・顕微鏡 ・自動血液培養装置 ・オートクレーブ ・ふ卵器 ・冷蔵庫
病理検査室	(主な設備) ・自動染色装置 ・クリオスタット ・手術標本写真撮影台 ・マイクローム ・自動包埋装置 ・デジタル撮影装置付き顕微鏡 ・冷蔵庫
病理解剖室	(主な設備) ・解剖台 ・解剖標本写真撮影台 ・ホルマリン除去装置
研究室	(主な設備) ・机 ・椅子 ・プロジェクター1台 ・インターネット回線
講義室	室数 3室 収容定員 120人
図書室	室数 1室 蔵所数 5,000冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 救急車 (緊急車両) 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 16.89㎡ [共用室の場合] 共用なし

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

## 別紙2 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

(他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績)

## 1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	63.2%	算定 期間	平成30年 4月 1日～ 平成31年 3月 31日
地域医療支援病院 逆紹介率	87.9%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		4,832人
	B：初診患者の数		7,637人
	C：逆紹介患者の数		6,715人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

月別紹介率・逆紹介率は、【別添1】のとおり

別紙 3 共同利用の実績

(地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類)

1 共同利用の実績

・病床の共同利用医療機関の延べ数・・・1施設
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・1施設
・医療機器
MRI の共同利用医療機関の延べ数・・・36施設
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・36施設
CT の共同利用医療機関の延べ数・・・31施設
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・31施設
・研修施設の共同利用医療機関の延べ数・・・8施設
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・8施設
合計
医療機関の延べ数・・・76施設
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・76施設
・共同利用に係る病床の病床利用率・・・3.1%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

病院の建物の一部、主な医療機器の共同利用
CT、MRI、超音波検査、内視鏡検査、手術室、シミュレーションセンター、図書室
共同利用に係る病床    5床

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無  有  無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: XXXXXXXXXX
- 職種: 事務(地域医療連携室)

(注) 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

#### 4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
<p>医療機器の共同利用の登録医療機関名簿に記載された医療機関</p> <p>医科                    38施設            (うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・38施設)</p> <p>歯科                    38施設            (うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・38施設)</p> <p>※登録医療機関名簿は、【別添2】記載のとおり</p>				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

## 別紙4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

## 1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

【医師】	
常勤非専従	24名
内科医師	10名
外科医師	3名 (救急科専門医1名)
整形外科医師	3名
産婦人科医師	1名
耳鼻いんこう科医師	2名
泌尿器科医師	1名
脳神経外科医師	1名
小児科医師	2名
麻酔科医師	1名
【看護師】	
常勤非専従	43名
医療従事者名簿は、【別添3】のとおり	

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	HCU 14床
専用病床	0床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

## 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	323.38㎡	(主な設備) 診察台、ストレッチャー、除細動器、超音波診断装置、無影灯、吸引、心電圧計、輸液ポンプ、酸素、シリンジポンプ、人工呼吸器、酸素飽和度測定器	可
放射線部門	654.31㎡	(主な設備) CR2台、CT2台、MRI1台、血管造影装置1台	可
臨床検査部門	463.84㎡	(主な設備) 尿定性検査装置、自動血球測定装置、自動血液凝固分析装置、自動血球測定装置、自動血液凝固分析装置	可
ハイアユニット (HCU)	465.42㎡	(主な設備) 除細動器、セントラルモニター、ベッドサイドモニター、超音波診断装置、吸引、酸素	可

#### 4 備考

救急告示病院（平成13年3月指定）

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

#### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3,832人 ( 1,575人)
上記以外の救急患者の数	3,371人 ( 459人)
合計	7,203人 ( 2,034人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

#### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----



## 別紙 5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

## 1 研修の内容

【平成30年度】

伊東市民病院CPC（臨床病理検討会）

開催延べ回数	5回			
研修参加者延べ数	167人	(医師	109人、	医師以外 58人)
内 当院参加者	162人	(医師	104人、	医師以外 58人)

医療安全に関する研修会（医療ガスも含む）

開催延べ回数	3回			
研修参加者延べ数	801人	(医師	51人、	医師以外 750人)
内 当院参加者	800人	(医師	51人、	医師以外 749人)

地域医療に関する研修会

開催延べ回数	9回			
研修参加者延べ数	194人	(医師	0人、	医師以外 194人)
内 当院参加者	38人	(医師	0人、	医師以外 38人)

感染対策に関する研修会

開催延べ回数	2回			
研修参加者延べ数	805人	(医師	49人、	医師以外 756人)
内 当院参加者	793人	(医師	49人、	医師以外 744人)

医療倫理に関する研修会

開催延べ回数	1回			
研修参加者延べ数	95人	(医師	15人、	医師以外 80人)
内 当院参加者	81人	(医師	15人、	医師以外 66人)

認知症に関する研修会

開催延べ回数	9回			
研修参加者延べ数	440人	(医師	54人、	医師以外 386人)
内 当院参加者	98人	(医師	30人、	医師以外 68人)

計

研修参加者延べ数	2,502人	(医師	278人、	医師以外 2,224人)
----------	--------	-----	-------	--------------

研修会ごとの名称、講師、会場、主催、参加者数の実数等は【別添4】のとおり

## 2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	29回
(2) (1) の合計研修者数	2,502人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

### 3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無  有・無

イ 研修委員会設置の有無  有・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	産婦人科	管理者	39年	
	医師	整形外科	副管理者	41年	
	医師	消化器内科	病院長	34年	
	医師	循環器内科	副病院長	38年	
	医師	外科	診療部長	26年	
	看護師		看護部長	28年	
	看護師		看護副部長	27年	
	作業療法士		医療技術部長	27年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
1F 講堂	158.93m <sup>2</sup>	(主な設備) 大型プロジェクター、LAN
2F シミュレーションセンター	87.65m <sup>2</sup>	(主な設備) LAN
2F ホスピタルモール	606.0m <sup>2</sup>	(主な設備) LAN
4F 研究室 (多目的室)	46.5m <sup>2</sup>	(主な設備) プロジェクター、LAN
4F リハビリテーション室	405.88m <sup>2</sup>	(主な設備) LAN

## 別紙6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	総務課長	
管理担当者氏名	総務係長	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録	病院日誌、各科診療日誌	医事課	紙媒体 関係書類綴り
	処方せん	薬剤室	紙媒体 関係書類綴り
	手術記録	手術室	紙媒体 関係書類綴り
	看護記録	看護部長室	紙媒体 関係書類綴り
	検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	サーバー室	電子カルテシステム 画像データ原本は電子媒体で保管 暦年管理の患者登録別に分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	紙媒体 関係書類綴り
	救急医療の提供の実績	医事課	紙媒体 関係書類綴り
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	紙媒体 関係書類綴り
	閲覧実績	医事課	紙媒体 関係書類綴り
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	紙媒体 関係書類綴り

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

## 別紙7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	医事課長	
閲覧担当者氏名	医事課係長	(診療情報管理士)
閲覧の求めに応じる場所	総合受付	
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>1. 診療情報提供の範囲及び内容</p> <p>(1) 範囲</p> <p>ア 原則</p> <p>この規定において対象となる診療情報は、当院において作成管理される以下の諸記録に含まれる情報とする(①から⑥を「診療録等」という)。</p> <p>なお、他の医療機関において作成された紹介状、証明書等は対象外とする。</p> <p>① 医師法(昭和23年法律第201号)第24条に規定する診療録</p> <p>② その他、医療従事者が作成した看護記録、処方せん、検査記録、放射線写真(MRI・超音波を含む)等の診療に関する諸記録</p> <p>イ 診療録等開示期間の範囲</p> <p>対象者に開示する診療録等は、原則として、申請書を受けた日から遡及して5年以内に作成されたものとする。</p> <p>(2) 内容</p> <p>① 現在の症状および診断病名</p> <p>② 予後</p> <p>③ 処置および治療の方針</p> <p>④ 処方する薬剤については、薬剤名、服用方法、効能、特に注意を要する副作用</p> <p>⑤ 代替的治療法がある場合には、その内容および利害損失</p> <p>⑥ 手術や侵襲的な検査を行う場合には、その概要、危険性、実施しない場合の危険性、合併症の有無</p> <p>⑦ その他患者が説明を求めた事項</p> <p>患者が、以上あげた診療情報に関し、知らないでいたい旨を表明した場合には、これを尊重するものとする。</p> <p>2. 診療情報提供の対象者</p> <p>診療情報提供の対象者(以下「対象者」という)は、原則として以下のとおりとする。</p> <p>(1) 患者が成人で判断能力がある場合は、患者本人</p> <p>(2) 患者に法定代理人がある場合は、法定代理人。ただし、満15歳以上の未成年者については、疾病の内容によっては本人のみの請求を認めることができるものとする。</p> <p>(3) 患者本人から代理権を与えられた親族</p>		

- (4) 患者が成人で判断能力に疑義がある場合には、現実に患者の世話をしている親族、またはこれに準ずる縁故者  
 なお、(3) および (4) に該当する者が開示請求を行う場合には、患者本人が開示に関し同意していることを確認するため、委任状の提出を求めるものとする。

### 3. 診療情報提供の方法

診療情報開示の方法については以下のとおりである。

#### (1) 診療内容の説明

診療を担当する医師は、日常診療において、対象者に対し、診療の内容について、積極的かつ丁寧に説明するものとする。

#### (2) 診療録等の開示

対象者は、診療録等の開示を希望する場合には、書面により管理者に申請書を提出する。申請を受けた管理者は以下の手順で開示を行う。

- ① 診療録等の開示については、管理者が申請を受理した日の翌日から起算して14日以内に書面をもって回答する。  
 ただし、やむを得ない理由により、かかる期間内に回答することができない場合は、申請書を受理した日の翌日から起算して30日を限度として、その期間を延長することができる。この場合、管理者が申請を受理した日の翌日から起算して14日以内に書面をもって、延長の理由を対象者に通知する。
- ② 開示は閲覧によることを原則とするが対象者が写しまたは要約の交付を希望した場合は、診療情報管理委員会の答中に基づいて、写しまたは要約書を交付することができる。
- ③ 閲覧は管理者が指定する場所において職員の立会いの下において行い、診療録等の病院外への持ち出しは禁止する。
- ④ 対象者が診療録等の開示に併せて口頭による説明を申請した場合、医師は診療録等の開示とともに口頭による説明を行う。
- ⑤ 開示申請書および開示許可書の様式、その他開示に関する手続きの詳細については、別途管理者が定める。

### 4. 診療録等の開示の申請期間

対象者は原則として患者本人の受療中に、当該受療者の疾病に係わる診療録等の開示申請を行うものとする。ただし、患者本人が死亡した場合の開示申請については、患者死亡日の翌日から起算して60日以内の期間とする。

前年度の総閲覧件数		27件
閲 覧 者 別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	27件

## 別紙 8 医療法施行規則第 9 条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	(1回は紙面開催)
委員会における議論の概要		
第1回	日 時	平成30年11月26日 (月) 19:00~20:00
	場 所	伊東市民病院 講堂
	出席者	15名中13名
	議 題	地域医療支援病院運営委員会規定について 副委員長指名 患者数、紹介、逆紹介、共同利用の実績報告 研修会開催の実績・計画報告 質疑応答・意見交換
	概 要	地域医療支援病院制度について説明し地域医療機関・行政等に協力を依頼した。 実績報告及び計画報告を行い当病院に対して研修会の広報先についての意見を聴取した。 歯科医師会・薬剤師会については、歯科医師会長・薬剤師会事務局宛に広報することとなった。
第2回	日 時	平成31年3月14日 (木) 発送 紙面開催
	議 題	平成30年度入院患者数・外来患者数実績報告 平成30年度救急受付状況 平成30年度紹介率・逆紹介率及び診療科別紹介件数 平成30年度共同診療実績 平成30年度研修会・講演会実績及び予定報告
	概 要	紙面にて各委員へ上記の議案について送付した。 現況についてのご意見は特になかった。

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

## 別紙 9 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 相談室 その他 ( )
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MSW</li> <li>・ 看護師</li> <li>・ 保健福祉士</li> </ul>
患者相談件数	5,146件
患者相談の概要	
<p>相談内容 (患者相談件数に対して重複あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅相談 : 1,876件</li> <li>・ 入院相談 : 90件</li> <li>・ 転院相談 : 2,616件</li> <li>・ 経済的な相談 : 344件</li> <li>・ 制度相談 : 728件</li> <li>・ がん相談 : 410件</li> <li>・ その他 : 550件</li> </ul>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

## 別紙10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

## 1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	(有) 無
日本医療機能評価機構 (財) 認定証 認定JC1565 3 審査体制区分 3rdG:2.0 認定期間 2018年11月17日～2023年11月16日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

## 2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	(有) 無
ホームページの随時更新を行っている。 開業医向けに当病院の各科各医師の紹介をまとめた冊子を年1回配布している。 地域住民向け広報誌を年3回発刊。開業医向けに医師変更等が発生した場合も随時発刊している。地域住民向けに年複数回「すこやか健康講座」及び「出前認知症講習会」等を行い月1回「看護公開講座」を行っている。 開業医の紹介リーフレットを作成し開業医との棲み分けを地域住民へ説明している。	

## 3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	(有) 無
地域医療連携室内に医療福祉相談室を設けて、連携して対応。 MSW：5名 退院調整看護師：2名 業務内容：退院支援（在宅療養支援、療養・介護施設紹介、関係機関との連携） 入院患者全件について入院初期に今後退院支援が必要とされるか総合評価を実施 算定有無に関わらず、退院時共同指導33件、介護連携指導87件を実施。 件数については増加傾向にあり今後も病棟ナースと連携し退院調整についての連携強化を図っていく。	

## 4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	(有) 無
脳卒中連携パスは、施設基準上算定要件を満たしていない為、伊豆地区脳卒中携パス合同連絡会議（年3回開催）に参加し各医療機関との研修、連携のみ行っている。 その他のクリティカルパスに関しては、現在、院内クリティカルパス調整中。 がん診療連携拠点病院と大腸がん術後補助化学療法について連携準備を行っている	



## 登録医療機関名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
青木クリニック	医療法人社 団順育会	静岡県伊東市吉田 116-2	外科・内科・整形外科・循 環器内科・リハビリ科	無
阿部脳神経外科医院	医療法人社 団阿部脳神 経外科医院	静岡県伊東市玖須 美元和田727-128	脳神経外科	無
伊豆高原クリニック	医療法人社 団椿寿会	静岡県伊東市八幡 野989-09	泌尿器科・内科	無
伊豆高原ゆうゆうの 里診療所	一般財団法 人日本老人 福祉財団	静岡県伊東市八幡 野1027	内科	無
伊豆高原メディカル たかやなぎ整形外科	医療法人社 団高伸会	静岡県伊東市八幡 野1191-6	整形外科・麻酔科（ペイン クリニック）・内科・リハ ビリ科	無
稲葉医院	稲葉 吉信	静岡県伊東市宇佐 美1650	内科・整形外科・小児科	無
伊東つくしクリニッ ク	医療法人社 団方円会	静岡県伊東市湯川 1-14-13湯の花天 満ビル2階	精神科・心療内科	無
上山レディースクリ ニック	医療法人社 団聖和会	静岡県伊東市吉田 573-3	産婦人科・内科・小児科	無
大川胃腸科外科	大川 眞澄	静岡県伊東市南町 2-1-11	消化器内科・外科	無
木村整形外科クリニ ック	医療法人社 団ケイ・オル ト	静岡県伊東市湯川 1-2-10	整形外科・リハビリ科・リ ウマチ科	無
佐藤産婦人科医院	佐藤 勝久	静岡県伊東市松原 湯端町3-18	婦人科・内科	無
佐藤病院	佐藤 潤	静岡県伊東市桜木 町1-2-24	内科・外科・整形外科	無
高野医院	医療法人社 団愛和会	静岡県伊東市荻 308-31	内科・小児科	無
田島医院	医療法人社 団回生堂	静岡県伊東市宇佐 美1137-7	外科・肛門科・胃腸科	無
立花胃腸科外科	立花 正史	静岡県伊東市川奈 1255-335	胃腸科・外科・内科・肛門 科・放射線科	無
なかた整形外科クリ ニック	医療法人社 団順志会	静岡県伊東市玖須 美元和田716-923	整形外科・リハビリ科・内 科	無

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
なぎさクリニック	医療法人社団香青会	静岡県伊東市湯川1-8-11 村上ビル4F	精神科・心療内科	無
なかむら内科・消化器内科クリニック	中村 勝運	静岡県伊東市湯川3-11-2 2階	内科・消化器内科	無
はあとふる内科・泌尿器科伊豆高原	医療法人社団弘潤会	静岡県伊東市八幡野947-651	内・泌・外・消・呼・小・糖内・人工透析	無
はあとふる内科・泌尿器科川奈	医療法人社団弘潤会	静岡県伊東市川奈1225-231	内・泌・外・消・呼・小・糖内・人工透析	無
長谷川眼科	長谷川 英稔	静岡県伊東市松原木町16-1ハヤシビル2階	眼科	無
月出整形外科医院	医療法人社団月出整形外科医院	静岡県伊東市桜が丘2-1-8	整形外科	無
皮フ科小西医院	小西 可南	静岡県伊東市玖須美元和田716-629	皮膚科・内科・小児科	無
日吉医院	医療法人社団すこやか	静岡県伊東市湯川1-15-4	内科・小児科・皮膚科	無
ヒルサイド眼科クリニック	土田 寛	静岡県伊東市大原2-3-10	眼科	無
藤井クリニック	藤井 まゆみ	静岡県伊東市銀座元町6-19	耳鼻咽喉科・皮膚科・内科・神経内科	無
前田医院	医療法人社団椎ノ木会	静岡県伊東市寿町7-4	内科	無
まさき耳鼻科医院	正木 義男	静岡県伊東市宇佐美1936-29	耳鼻咽喉科・アレルギー科	無
むらかみ小児科クリニック	村上 吉男	静岡県伊東市瓶山1-9-7	小児科	無
メディカルはば伊豆高原	医療法人社団いずみ会	静岡県伊東市富戸1317-4117	内科・外科・循環器科・消化器科・肛門科・整形外科・リハビリ科・糖尿病外来・眼科	無
山本医院	医療法人社団やすらぎ会	静岡県伊東市宇佐美1981-12	内科・胃腸科・小児科	無
やまもプラザファミリークリニック	生井 世雄	静岡県伊東市八幡野1183やまもプラザ2F	内科・呼吸器内科・小児科・アレルギー科	無

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
横山医院	医療法人社 団望洋会	静岡県伊東市和田 1-4-20	内科・外科・泌尿器科・(人 工透析)	無
許田医院	医療法人社 団一和会	静岡県伊東市幸町 4-17	整形外科・形成外科・内 科・婦人科	無
張脳神経外科クリ ニック	医療法人社 団優希会	静岡県伊東市和田 1-12-29	脳神経外科	無
伊豆まさき整形外科	医療法人社 団慈宏会	静岡県伊東市富戸 1301-41	整形外科・リハビリテーシ ョン科	無
祖父尼皮ふ科	祖父尼 哲	静岡県伊東市川奈 1226-31	皮膚科	無
伊豆のさと診療所	医療法人社 団望洋会	静岡県伊東市宇佐 美2414	内科・人工透析	無
あかつき歯科医院	鈴木 暁	静岡県伊東市松川 町3-2	歯科	無
飯田歯科医院	飯田 進	静岡県伊東市東松 原町13-3	歯科	無
石井歯科医院	石井 瑞枝	静岡県伊東市静海 町4-20	歯科	無
石川歯科	石川 和正	静岡県伊東市銀座 元町6-1	歯科	無
伊東中央歯科医院	山田 哲二	静岡県伊東市中央 町9-1	歯科	無
いなば矯正歯科	稲葉 惣一	静岡県伊東市和田 2-3-5	歯科	無
井原歯科岡診療所	井原 正剛	静岡県伊東市桜木 町1-5-11	歯科	無
ウノ 歯科医院	宇野 良樹	静岡県伊東市八幡 野1298-61	歯科	無
エトワール歯科クリ ニック	渡辺 眞光	静岡県伊東市広野 1-1-26	歯科	無
エムアイデンタルク リニック	井原 雅人	静岡県伊東市南町 2-3-23	歯科	無
エンゼル歯科クリ ニック	塩崎 洋堂	静岡県伊東市鎌田 957-1	歯科	無
大高歯科医院	大高 學	静岡県伊東市湯川 1-14-16	歯科	無

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
大竹歯科医院	大竹 一儀	静岡県伊東市湯川 2-16-23	歯科	無
岡山歯科	岡山 佐喜子	静岡県伊東市湯川 1-6-4	歯科	無
小川歯科医院	小川 敦嗣	静岡県伊東市宇佐 美1782-9	歯科	無
上條歯科医院	上條 定夫	静岡県伊東市宇佐 美1874-21	歯科	無
小出歯科医院	小出 泰正	静岡県伊東市桜力 丘2-5-8	歯科	無
小林歯科医院	小林 誠	静岡県伊東市荻 147-3	歯科	無
坂井小児歯科	坂井 正彦	静岡県伊東市寿町 7-10	歯科	無
しまだ歯科医院	島田 芳和	静岡県伊東市猪戸 1-6-12	歯科	無
下村歯科医院	下村 俊宏	静岡県伊東市吉田 404	歯科	無
新谷歯科医院	新谷 康啓	静岡県伊東市宇佐 美1609-5	歯科	無
鈴木歯科医院	鈴木 徹雄	静岡県伊東市竹の 内2-1-4	歯科	無
高川歯科医院	高川 徹一	静岡県伊東市八幡 野1189-58	歯科	無
ちやいるど歯科医院	医療法人社 団青歯会	静岡県伊東市松原 本町16-16	歯科	無
土屋歯科診療所	土屋 宏	静岡県伊東市竹の 内2-4-20	歯科	無
鶴岡歯科医院	鶴岡 好明	静岡県伊東市宮川 町1-3-13	歯科	無
仁田歯科医院	仁田 直嗣	静岡県伊東市宇佐 美1966-18	歯科	無
はざわら歯科医院	医療法人社 団健伸会	静岡県伊東市八幡 野1194-30	歯科	無
ひだ歯科医院	医療法人社 団皓歯会	静岡県伊東市川奈 1228-210	歯科	無

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
富士見歯科医院	山田 一郎	静岡県伊東市玖須 美元和田730	歯科	無
ホワイト歯科クリニック	稲葉 雄司	静岡県伊東市竹の内1-5-13	歯科	無
前島歯科医院	前島 寛爾	静岡県伊東市玖須 美元和田727-71	歯科	無
南島歯科医院	南島 文夫	静岡県伊東市吉田 758-12	歯科	無
望月歯科医院	望月 研司	静岡県伊東市岡広 町4-18	歯科	無
モモセ歯科クリニック	百瀬 哲也	静岡県伊東市大原 3-15-20	歯科	無
米山歯科	米山 典秀	静岡県伊東市桜木 町1-2-4	歯科	無
みどり歯科クリニック	堤 美登利	静岡県伊東市川奈 1230-19川奈駅前 ビル車館2階	歯科	無

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

## 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

## 【 医師 】

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	救急医療従事者年数	備考
1	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	18年	
2	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	14年	
3	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	13年	
4	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	5年	
5	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	6年	
6	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	5年	
7	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	2年	
8	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	2年	
9	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	15年	
10	内科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	15年	
11	外科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	16年	
12	外科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	10年	救急科専門医
13	外科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	7年	
14	整形外科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	18年	
15	整形外科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	5年	
16	整形外科医師		常勤 専従 非常勤 非専	週32時間	1年	
17	産婦人科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	12年	
18	耳鼻いんこう科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	18年	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	救急医療 従事者年数	備考
19	耳鼻いんこう科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	4年	
20	泌尿器科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	7年	
21	脳神経外科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	10年	
22	小児科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	10年	
23	小児科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	10年	
24	麻酔科医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週32時間	15年	

【 看護師 】

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	救急医療 従事者年数	備考
1	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	18年	
2	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	14年	
3	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	12年	
4	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	12年	
5	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	18年	
6	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	9年	
7	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	13年	
8	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	13年	
9	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	12年	
10	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	2年	
11	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	週39.5時間	12年	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	救急医療 従事者年数	備考
12	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
13	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
14	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	11年	
15	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	12年	
16	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	12年	
17	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	18年	
18	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
19	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	9年	
20	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	4年	
21	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	2年	
22	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
23	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
24	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
25	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	10年	
26	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	4年	
27	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	1年	
28	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	1年	
29	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	1年	



No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	救急医療 従事者年数	備考
30	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
31	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
32	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
33	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
34	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	1年	
35	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
36	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	12年	
37	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
38	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	5年	
39	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	3年	
40	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	2年	
41	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	2年	
42	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	週39.5時間	2年	
43	看護師		常勤 非常勤 専従 非専従	月58.0時間	5年	